

あなたを想う、プロになる

リニエ

おたより

2026

5月

MAY

Thank you Letter

リニエさんへ

PhotoTime

ちかげさま 京都府京都市

ご利用者とともに 風を感じて進む

株式会社リニエL 広報推進課 米澤

事業所一覧

【訪問看護】

リニエ訪問看護ステーション四ツ橋
 リニエ訪問看護ステーション四ツ橋サテライト平野
 リニエ訪問看護ステーション港
 リニエ訪問看護ステーション住之江
 リニエ訪問看護ステーション住之江サテライト南港
 リニエ訪問看護ステーション鶴見
 リニエ訪問看護ステーション鶴見サテライト天満
 リニエ訪問看護ステーション西淀川
 リニエ訪問看護ステーション東淀川
 リニエ訪問看護ステーション岸和田
 リニエ訪問看護ステーション泉佐野
 リニエ訪問看護ステーション枚方

リニエ訪問看護ステーション枚方サテライト大東
 リニエ訪問看護ステーション二条
 リニエ訪問看護ステーション草津
【小児特化訪問看護】
 リニエ訪問看護ステーションキッズ西宮
【デイサービス】
 PDリハビリ特化型リニエデイサービス岸和田
 PDリハビリ特化型リニエデイサービス泉佐野
【児童発達支援・放課後等デイサービス】
 リニエプラッツ本町
 リニエプラッツ阿波座
 リニエプラッツ枚方
 リニエプラッツくずは

リニエプラッツ草津

【相談支援】

リニエ相談支援本町

【訪問介護】

リニエ訪問介護ステーション藍住

【サービス付き高齢者向け住宅】

リニエハイム藍住

【小児向け自費教育】

リニエシュレ江坂



風を感じて進む

サービス担当者： リニエ訪問看護ステーション二条 看護師 三科
みしな
文： 株式会社リニエL 広報推進課 米澤
よねざわ



戦前から音を奏でる、幼稚園の先生にいただいた大切なピアノ。

意欲も湧かず 生きるだけの毎日

息子さまの幼少期から剣道の送り迎えや保護者会の役員、地域の役回りなどを精力的にこなしながら、ご自身でピアノ教室を運営されていたFさま。一年半前の脳出血によって右半身に麻痺が残り、リハビリ病院から退院されてご自宅に戻られた一年前は、生きていくだけで精一杯の日々でした。ちょうど息子さまが大学入試を控える時期だったそう。動く気もせず自宅にこもりきりで、外出はご家族に連れ出しても

らうくらいで通院のみ。笑顔が消え、絶望を感じていました。

思い出した楽しさ ピアノの力

そんな日々を変えるきっかけは、以前の生徒さんから希望されたピアノのレッスンだったそう。「10分でも20分でも、聴くだけでもいいから見てほしい」という希望に、自信を失う中でもボランティアの気持ちで約二年ぶりにレッスンを行いました。右手は難しくても左手はピアノが弾ける、感じることを言葉で伝えられる。気づけばあつという間に2時間が経ち、楽しい気持ちも湧き出てきたそうです。今は、戻ってこられた5名の生徒さんにレッスンなさっています。ご自身を待ってくださいました生徒さんへの感謝のこもった言葉が、それまでの関係性の深さを表しているようにでした。

電動車椅子との出会い

ピアノ教室はご自宅から2軒先。さらには買い物やおでかけにも一人で外出できる方法を模索し、この春、電動車椅子と出会いました。試乗日に町内を一周回ってこられたFさまの姿を思い出しながら「乗った！楽しかった！」と話すFさんのお顔は一生涯忘れられない」と三科Nsも目を細めます。

以前、車椅子を押してもらって買い物に行った時には自分は何もせず見ているだけで、無力さを感じていたと話すFさま。今では、ご自身で欲しいものを手に取り、買い物に行つてからお母さまのお宅へ向かい、差し入れとともに談笑したり。「電動車椅子に乗ると(前の自分に)ちよつと戻っている気がする」とおっしゃるFさまの声は、カラフルな光が弾けるように喜びに溢れていました。

風を感じて進む、 自信と自由

電動車椅子との出会いによって一人できることを取り戻し、踏み出した大きな一歩。その確かな手応えは、絶望によって揺らいでいた「自分らしさ」を呼び起こすものになったのではないのでしょうか。「本当に幸せ。風を感じて進む、みたいな」とおっしゃるその一言に、ご自身で風を感じられる自信と自由が凝縮されている気がしました。

(広報推進課 米澤)



息子さまやご家族の思い出もたくさん飾られていました。



Thank you Letter

サンキューレター

普段恥ずかしくて言えない感謝、面と向かっては言えない気持ちを「Thank you Letter」で伝えてみませんか？皆さまの心に浮かぶあの人へ、伝えたい気持ちをぜひご投稿ください。

リニエさんへ

いつも嚙下の先生には本当にお世話になってます。いつも明るく元気に訪問していただき最高のアドバイスと訓練をしていただいています。おかげ様で食事のムセも激減し、人との会話も随分スムーズになりました。ウチのアフロ犬も先生が好きで、先生が来られたら走り回って猛烈に喜んでます。犬を含め家族一同心から感謝しています。ありがとうございます♪

ナナ より

リニエさんへ

主人ただ今85歳。私80歳です。主人が60歳の時に階段から足を踏み外し、その後、筋肉の衰えやいろいろな事がありましたが、昨年8月頃ケアマネジャーさんの紹介でリニエの湯浅さん(言語聴覚士)と出会いお世話になっております。主人の、楽しく声を出して勉強しているその声が私を励ましてくれています。主人が笑顔で何とか立ち直ろうと頑張っている姿、応援しています。これからよろしくお願いたします。

京都 Y.K より

「Thank you Letter」では、読者参加型コーナーとして皆さまからのご投稿をお待ちしています！ぜひ、右のバーコードからお送りください。



PhotoTime

フォトタイム



……▶ ちかげさま 京都府京都市 70代 女性

昔から絵を描くことが好きで今も描いていらっしゃいます。一つひとつの絵には、ご自身や頼まれた方の様々な想いが込められています。展示会への出展、保護猫活動にも関わっていらっしゃいました。

理学療法士 寺西
てらにし

リニエプラッツ本町 開設10周年

リニエプラッツ本町 所長 青山詩季里



リニエプラッツ本町は2016年4月1日に開設し、4月で10周年という節目を迎えました。私を含め、現在の

スタッフはその歴史の途中から関わっていますが、当時の話や写真から、試行錯誤の積み重ねが今につながっていることを感じます。

私たちは開設当初より、就園や就学に向けて準備していく段階として『学校へ行くよ！』をコンセプトに、地域に必要とされる事業所を目指してきました。ありがたいことに初めての療育先として選んでいただけることも多く、たくさんのお子さまと歩んできた実績と信頼に感謝しています。日々、お子さまや保護者の方にとって必要な支援をスタッフ同士で考え

続けられること、同じ方向を向いて切磋琢磨できることが私たちの強みです。

入園・入学を支援してきたお子さまの中には、私たちにしてほしいと、制服を着てランドセルを背負って来所してくれた子や、幼稚園時代にトイレへの不安を抱えていた子が小学生になりお友だちと協力して自ら解決できたという話もありました。支援が学校生活に活かされていることを実感し、『学校へ行くよ！』というコンセプトに沿った関わりが実現できていくことに大きな喜びを感じました。

今後も地域に必要とされる事業所として、一人ひとりに寄り添った支援を提供してまいります。

地域向けのドッジボールイベント 「あそぼーず」を開催しました

リニエシュレ江坂 責任者 本告玲那



地域向けのドッジボールイベント「あそぼーず」は2023年1月にスタートしました。当時は新型コロナウイルスの影響によって外遊びが制限され、公園で友だちと遊ぶことが難しく、学校でも黙食が続くなど、子ども同士の関わりが減っていました。放課後も自宅でゲームをする時間が増え、身体を動かす機会も減っている状況に私たちは強い不安を感じ、「思いきり遊べる場所をつくりたい」という思いから「あそぼーず」を立ち上げました。

活動では、試合前に子どもたち自身で役割を話し合う時間を大切にしています。今回は約25名のお子さまにご参加いただきました。最初は、何も言わず外野に向かう

子や「ジャンプボールがしたい」と声を上げる子どもなど、さまざまな姿が見られました。しかし試合を重ねる中で、友だちの様子を見ながら譲り合い、自ら手を挙げて思いを伝える姿へと変化していきました。遊びを通してコミュニケーションが育まれ、子どもたちの成長につながる場であると改めて実感しました。



・・・リニエおたよりへのご意見、ご感想はこちら・・・

リニエおたよりは皆さまとともにつくる広報紙を目指しています。ご意見、ご感想などございましたら郵送・メールFAX・スタッフへのご伝言など、様々な方法でお待ちしております。

【リニエグループ広報】 メールアドレス:pr@linie-group.jp FAX:06-6684-8906

